

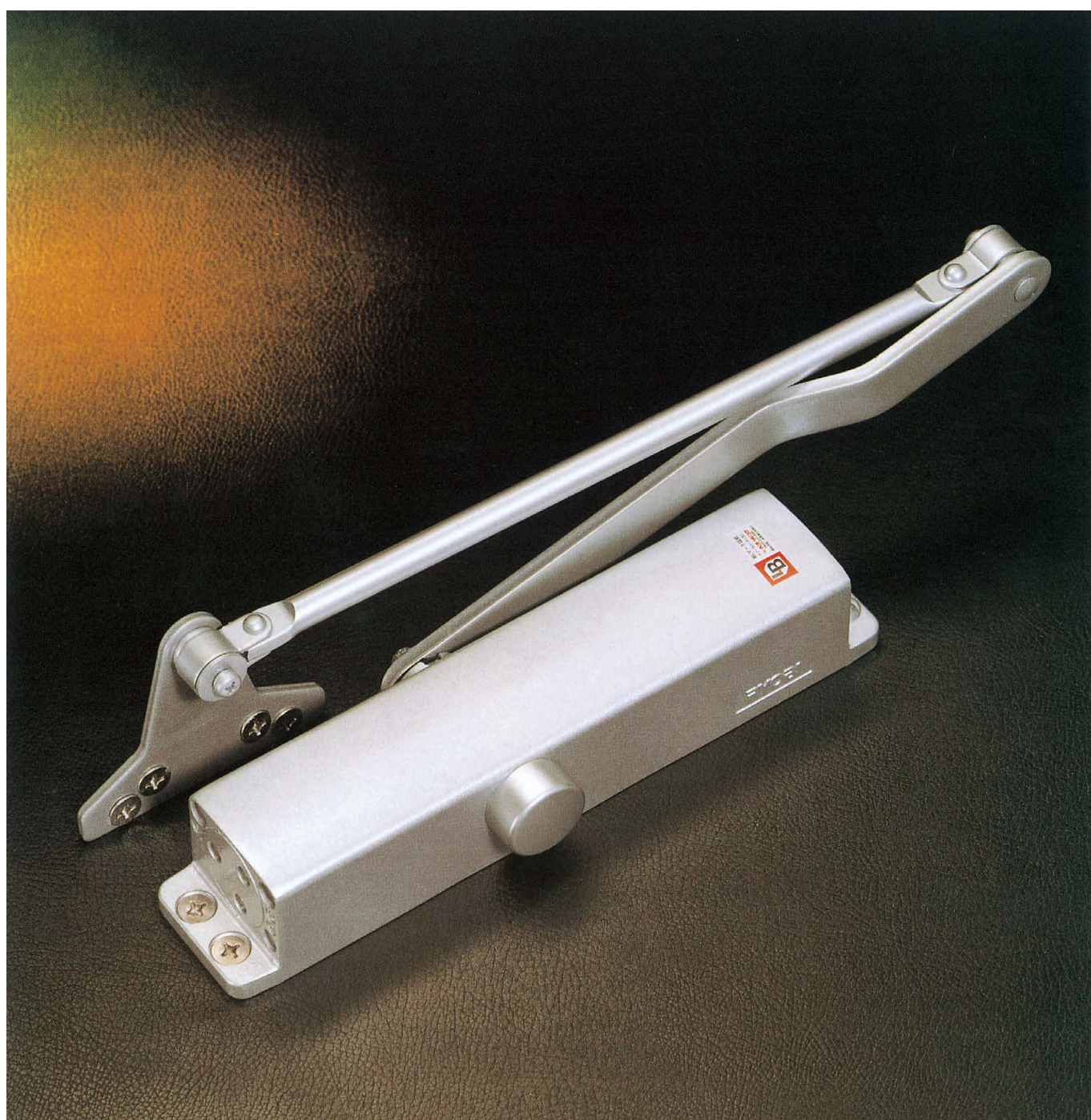
RYOBI

優良住宅部品



BL DOOR CLOSERS

リョービ BL 認定 ドア・クローザ



BL DOOR CLOSERS

種別一覧表

標準仕様

区分		型番		適用ドア		仕様	頁	
		標準仕様	工事中ストップ仕様	巾×高さ(mm)	重量(kg)			
開き戸用	玄関ドア用	I型	BL-3P	CN-BL-3P	800×1900	50	ストップなし	6
			BL-3P(90)				ストップなし・90°制限	
		I-S型	BLS-3P		900×2000	50	ストップ付(外装式)	7
		II型	BL-4P	CN-BL-4P	800×1900	50	ストップなし バックチェック付	8
	II-D型	BLA-4P	CN-BLA-4P	850×2000	55	ストップなし バックチェック付 ディレードアクション付	9	
	内装ドア用		RB-S101PVD		800×2000	30	ストップ付(内装式) 開閉力調整機能付	10
引戸用	玄関ドア用		BL-85		有効開口 850×2000	80	ストップなし ディレードアクション付	11

- 開き戸用はバラレル取付のみです。
- 開き戸用は全機種とも左右勝手共用です。
- 工事中ストップを常時閉鎖が義務付けられているドアへ使用された場合、ドアの機能検査前に必ずストップ機能を解除してください。
- 機種選定の際は、適用ドアの巾(引戸用のBL-85は有効開口)を優先してください。

BLドア・クローザの区分

I型

比較的低層な集合住宅で防火戸としての玄関ドアに用いるドア・クローザ。

I-S型

防火戸を必要としない玄関ドアに用いるストッパー機能を有するドア・クローザ。

II型

主に中高層集合住宅の防火戸としての玄関ドアに用いるドア・クローザで、バックチェック機能を有するもの。

II-D型

II型にディレードアクション機能を有するもの。ディレードアクション機能はディレード時間の調整、及び機能の解除ができるものとする。

内装ドア用

BL内装ドア又はこれと同等程度の大きさ、重さの内装ドアに用いるドア・クローザで、ストッパー機能を有するもの。

引戸用

車いす使用者に配慮した集合住宅用の玄関ドア引戸に用いるドア・クローザで、ディレードアクションを有する。

BLドア・クローザの規格

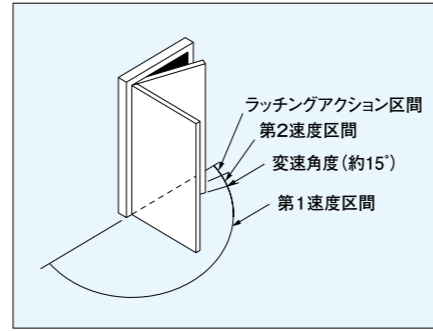
項目	性能					
	I型	I-S型	II型	II-D型	内装ドア用	引戸用
耐久性	ドア重量50kgのもので、自動20万回連続開閉試験及び強制7万回連続開閉試験に合格すること。	(1)ドア重量50kgのもので、自動20万回連続開閉試験及び強制7万回連続開閉試験に合格すること。 (2)ドア重量50kgのもので、ストッパー機構が自動1万回連続掛け外し試験に合格すること。	(1)ドア重量50kgのもので、自動20万回連続開閉試験及び強制7万回連続開閉試験に合格すること。 (2)ドア重量50kgのもので、バックチェックは自動7千回連続開閉試験に合格すること。	(1)ドア重量55kgのもので、自動20万回連続開閉試験及び強制7万回連続開閉試験に合格すること。 (2)ドア重量55kgのもので、バックチェックは自動7千回連続開閉試験に合格すること。	(1)ドア重量30kgのもので、自動10万回連続開閉試験に合格すること。 (2)ドア重量30kgのもので、ストッパー機構が自動1万回連続掛け外し試験に合格すること。	ドア重量60kgのもので、自動20万回連続開閉試験及び強制7万回連続開閉試験に合格すること。
防火性	JIS A 1304(建築構造部の耐火試験方法)による1時間の加熱試験時にシリンダーが爆裂をおこさないこと。					
耐温度性	-10℃及び35℃の状態で作動させ、常温時と比し極端に閉鎖時間が変化しないこと。					
作動速度	無風常温時(20℃)において、ドアを90°まで開き、ラッチング完了まで5~8秒であること。 (II-D型はドア開き角度90°から60°までの作動時間が5~10秒であること。…ディレードアクション)					無風常温時(20℃)において、扉全開状態まで開き、閉じた後の扉静止状態になるまでが5~8秒であること。
耐風圧性	ドア閉じ方向に100N/m ² (10.2kgf/m ² ・風速換算約12.7m/sec)の荷重を加えた時、ドア開き角度20°からの閉鎖時間は0.8秒以上とする。	(1)ドア閉じ方向に150N/m ² (15.3kgf/m ² ・風速換算約15.6m/sec)の荷重を加えた時、ドア開き角度20°からの閉鎖時間は0.8秒以上とする。 (2)ドア開扉方向(ドアに直角)に60N/m ² (6.1kgf/m ² ・風速換算約10m/sec)の荷重を加えた時、70°~85°の間で有効にバックチェック機能が働き、その後20°開く速さは1秒以上であること。	(1)ドア閉じ方向に100N/m ² (10.2kgf/m ² ・風速換算約12.7m/sec)の荷重を加えた時、ドア開き角度20°からの閉鎖時間は0.8秒以上とする。 (2)ドア開扉方向(ドアに直角)に60N/m ² (6.1kgf/m ² ・風速換算約10m/sec)の荷重を加えた時、70°~85°の間で有効にバックチェック機能が働き、その後20°開く速さは1秒以上であること。	(1)ドア閉じ方向に50N/m ² (5.1kgf/m ² ・風速換算約9.2m/sec)の荷重を加えた時、ドア開き角度20°からの閉鎖時間が著しく早くならないこと。		
開き力 閉じ力	(1)開き力35N・m(3.57kgf・m)以下とする。 (2)閉じ力10N・m(1.02kgf・m)以上とする。	(1)開き力35N・m(3.57kgf・m)以下とする。 (2)閉じ力20N・m(2.04kgf・m)以上とする。	(1)開き力30N・m(3.06kgf・m)以下とする。 (2)閉じ力17N・m(1.73kgf・m)以上とする。	(1)開き力30N・m(3.06kgf・m)以下とする。 (2)閉じ力5N・m(0.51kgf・m)以上とする。	(1)開き力30N・m(3.06kgf・m)以下とする。 (2)閉じ力3N(0.31kgf)以上とする。	(1)全閉状態から50mm開く開き力20N(2.04kgf)以下とする。 (2)閉じ力3N(0.31kgf)以上とする。
ドア開き角度5°までの最大値						

開き戸用の仕様および調整方法

※引戸用については、11頁に掲載しています。

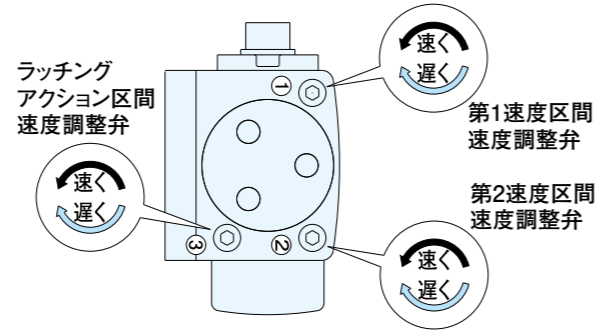
速度調整区間

- ドアの閉鎖速度には2つの速度区間があります。
 - 全体的なドアの閉鎖スピードをコントロールする第1速度区間、閉じ際
のスピードをコントロールする第2速度区間の2段階に別れます。
 - 第1速度、第2速度をそれぞれ独立した速度調整弁を操作すること
によって、任意のスピードに調整することができます。
 - ドア開き角度約90°からドアが閉じきるまで5～8秒が適正です。
 - 第2速度はドアを枠に納めるスピードです。ラッチの固さによって速くし
たり、遅くしたりしてください。
(第2速度は第1速度よりやや遅く設定してください。)
- 注:速度調整は一般の方にはできないように専用工具を必要としています。



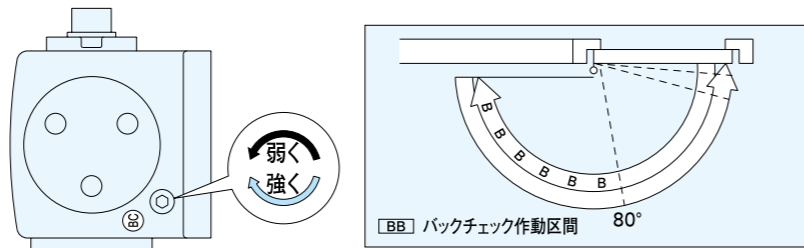
ラッチングアクション(内装ドア用を除く全機種)

- ドアが閉鎖位置手前約2°まできた時点でドアを素早く閉める
機能です。エアタイトドアや電気錠付きドアなどに効果的で、
より確実にドアを閉めることができます。
- 不要の場合は調整弁を締め込んで、全閉状態にしてください。
(工場出荷時は全閉にしています。)
- ラッチングアクションは2速より遅くはなりません。



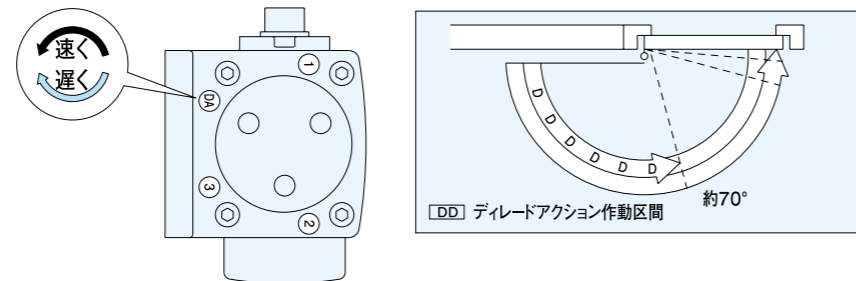
バックチェック機能(Ⅱ型、Ⅱ-D型/BL-4P、BLA-4P)

- 強風などによる急激な開扉を制御する
装置です。
- 高層階や強い風が吹く場所など、ドアの
使用条件に応じてご選択ください。
- ドアが強風や乱暴な扱いで急激に開くこ
とにより発生する、人身事故やドアの損傷を
未然に防ぎます。
- ドア開き角度80°～180°の範囲ではたら
きます。
- 作動時にはドアが重くなりますが、故障ではありません。ゆっくりと押せば、ドアは開きます。
- バックチェック力の調整は戸先側の調整弁をまわして行います。
- バックチェック装置付のドアクローザを取付ける場合は吊り金具、取付用ウラ板を充分に補強してください。



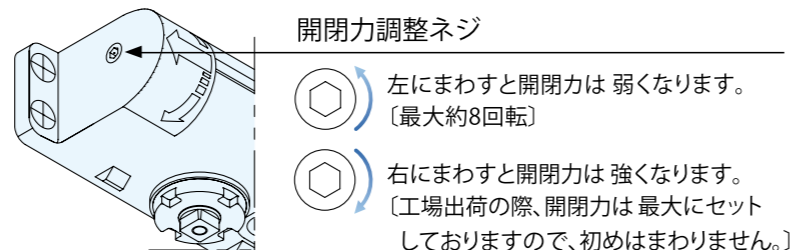
ディレードアクション機能(Ⅱ-D型/BLA-4P)

- ドア閉じ方向の閉じ始めのスピードを制
御する装置です。
- ドア全開角度より約70°までの区間速度
制御が得られ、ドアをゆっくりと閉じること
ができます。
- 荷物の搬入時や車椅子での通行が便利
に、安全になります。
- 速度の調整は吊元側の調整弁をまわし
て行います。



開閉力調整機能(内装ドア用/RB-S101PVD)

- 開閉力調整ネジを操作することで環境に
応じた開閉力を得ることができます。



開き戸用の仕様および調整方法

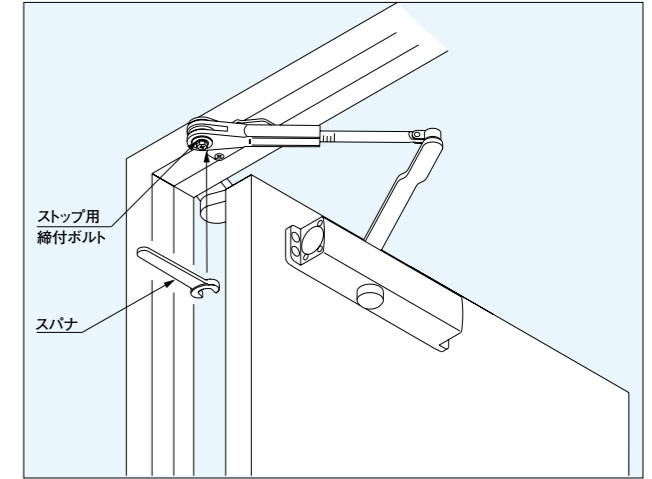
※引戸用については、11頁に掲載しています。

外装式ストップ装置(I-S型/BLS-3P)

- ストップ装置はカム-アンチフリクション機構を採用。
 - ストップ角度の設定が可能です。
 - ストップ角度の設定はカムにセレーション工法を実施し、開き角度70°～180°まで設定可能です。
(戻りしろが最大で約15°あります。最大開き角度付近に壁がある場合にはご注意ください。)
- ストップ角度の設定・施工が容易なストップ装置です。

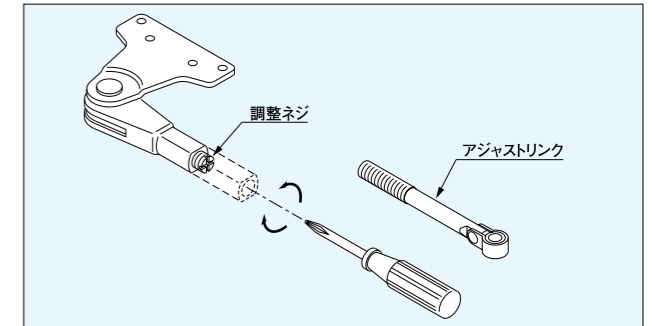
ストップ角度の設定・施工

- ドアをストップさせる角度まで開き、ストップ用締付ボルトをスパナ
できつく締め付けてください。
- ドアを振りながら締め付けると効果的です。



ストップ保持力の調整

- ストップ保持力はあらかじめ工場調整を行っています。
調整が必要な場合は、アジャストリンクをはずし、調整ネジをまわ
してください。
- 右回転…強く
- 左回転…弱く
- 右回転は1回転以上まわさないでください。

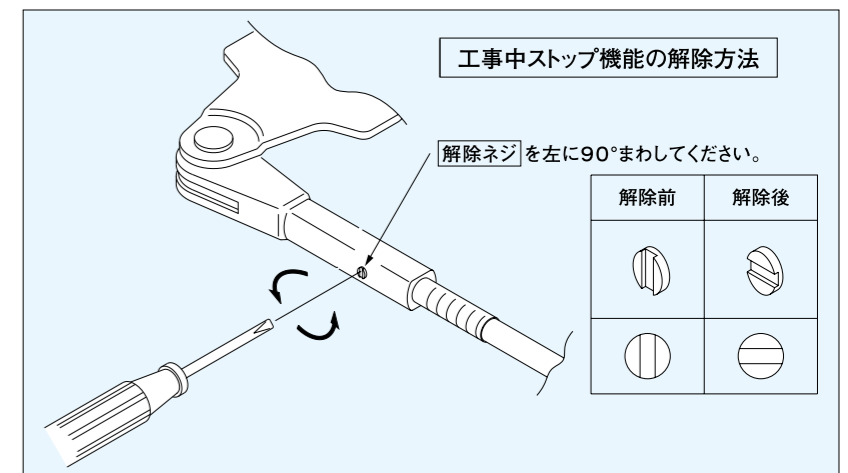


内装式ストップ装置(内装ドア用/RB-S101PVD)

- ドアを約70°開くと、ストップ装置がはたらいでドアは開いたままになり、約70°～180°の間では任意の角度でドアは開いたまま
で止まります。ドアを閉める場合は、約70°の位置まで戻せば、後は自動的に閉まります。

工事中ストップ装置(I型・Ⅱ型・Ⅱ-D型/CN-BL-3P・CN-BL-4P・CN-BLA-4P)

- ドアの機能検査前のみ使用するためのスト
ップ装置です。
- 工事にドアを開いたまま保持できるため、
荷物の搬入などに便利です。(通常の外装式
ストップ装置と同様に、ストップ角度の設定が
できます。)
- ストップ解除ネジをマイナスドライバーで90°
左にまわすと、ストップ機能は解除されます。
- ストップ機能は1度解除すると復帰できま
せん。
- 集合住宅の玄関ドア等で常時閉鎖が義務付
けられているドアはストップ機能の使用ができ
ません。ドアの機能検査前に、必ずストップ
機能を解除してください。

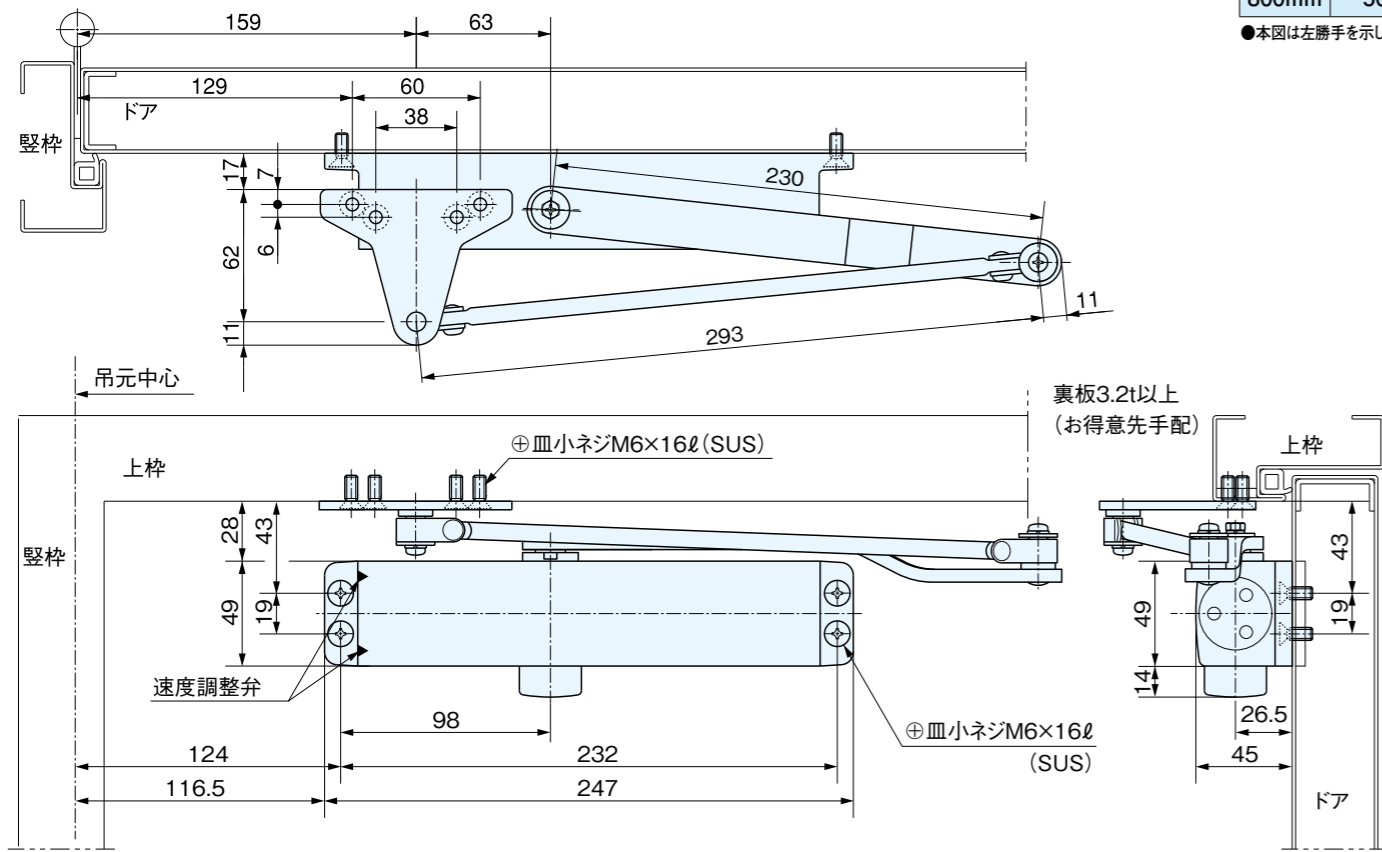


標準納り図

ドア・クローザ I 型 / BL-3P ストップなし

適用ドア巾	重量 (kg)
800mm	50

●本図は左勝手を示します。

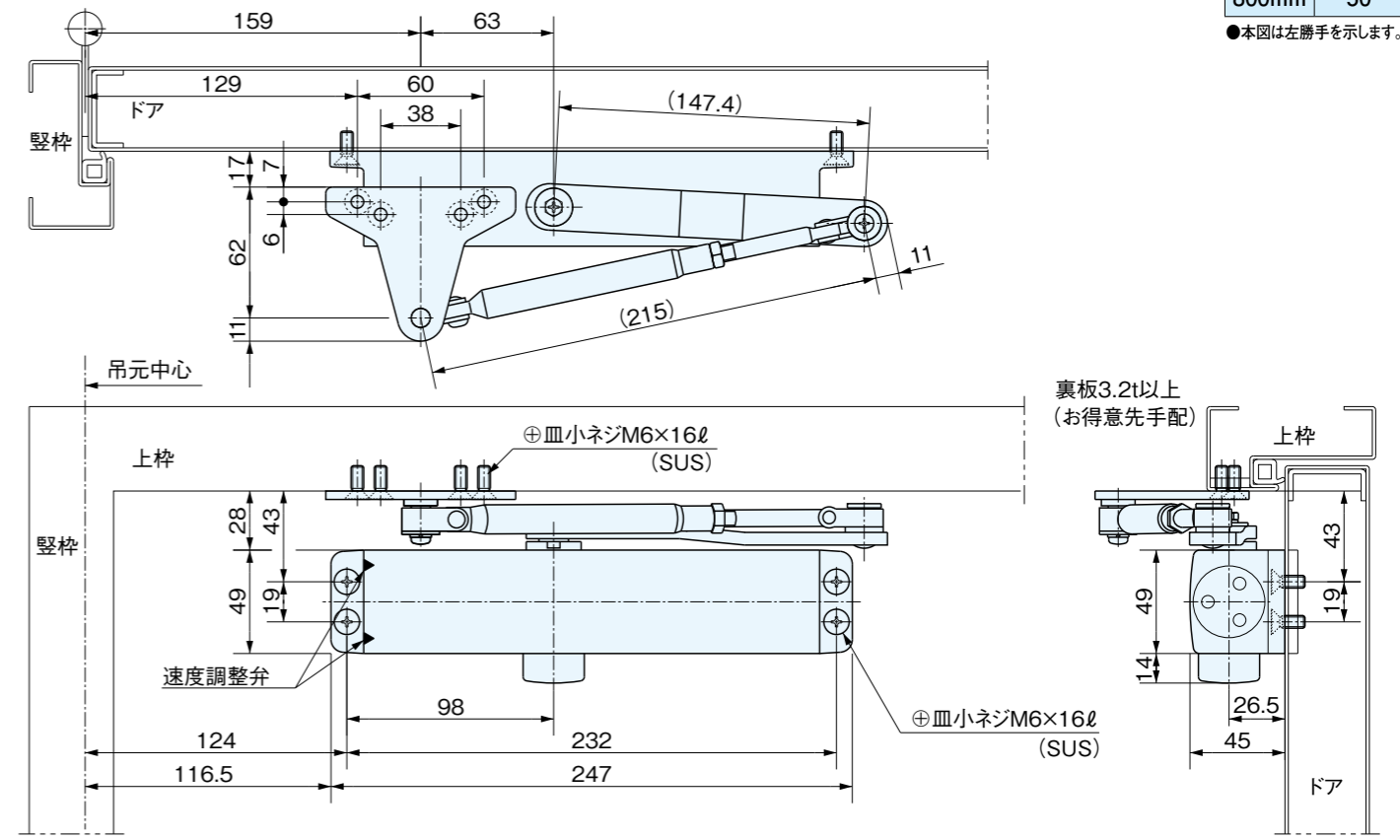


標準納り図

ドア・クローザ I 型 (90°制限) / BL-3P (90) 90°制限・ストップなし

適用ドア巾	重量 (kg)
800mm	50

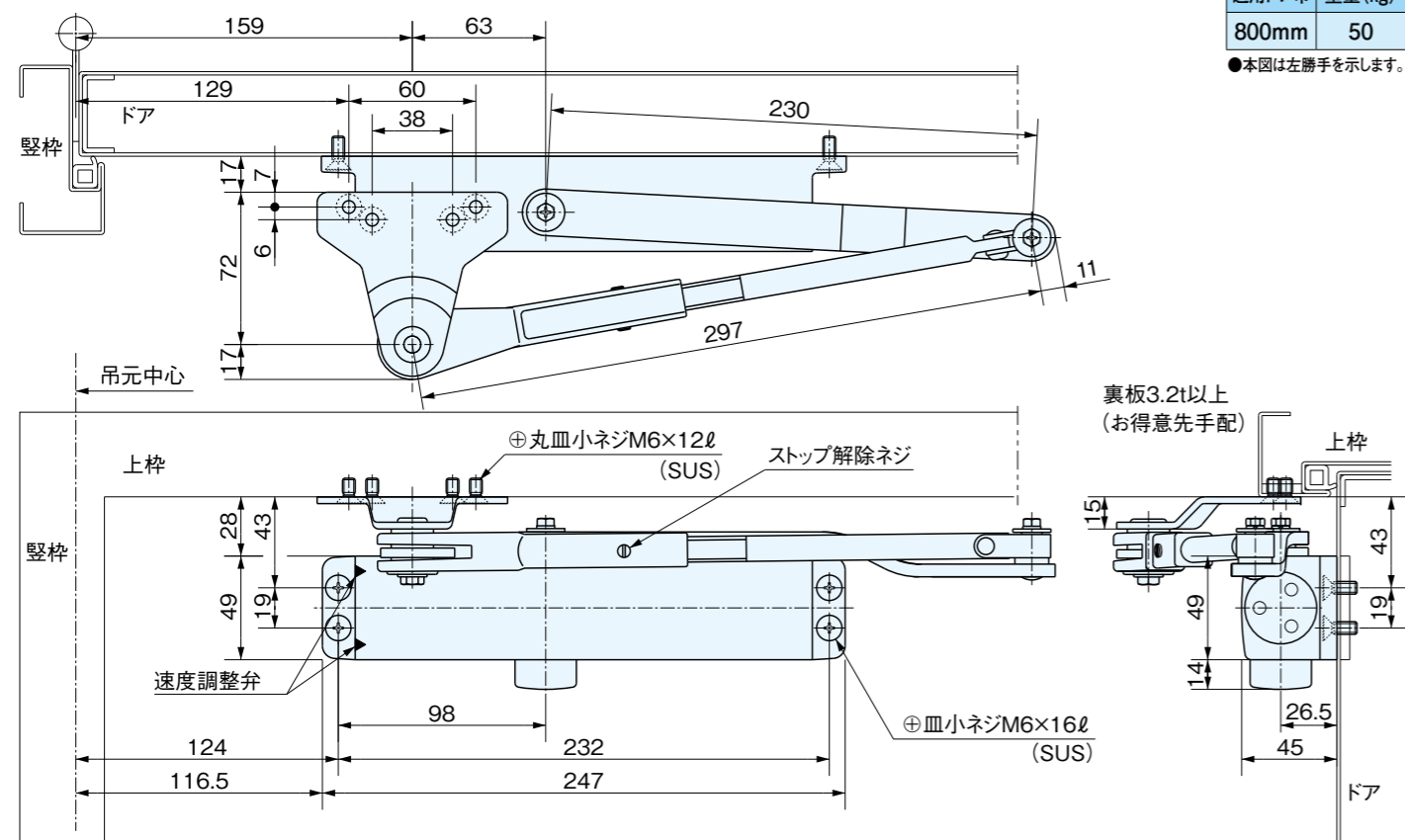
●本図は左勝手を示します。



ドア・クローザ I 型 / CN-BL-3P 工事中ストップ仕様

適用ドア巾	重量 (kg)
800mm	50

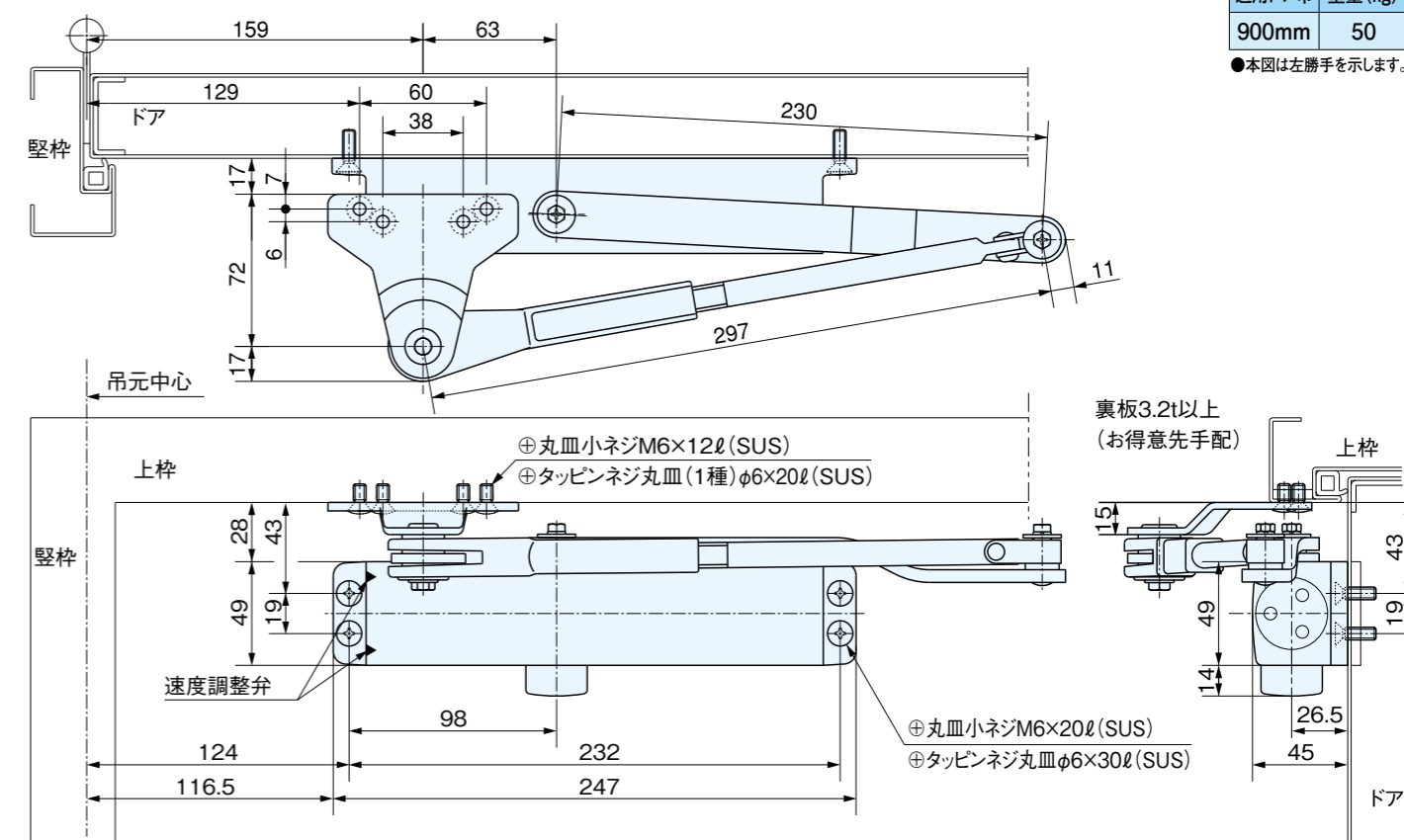
●本図は左勝手を示します。



ドア・クローザ I-S 型 / BLS-3P ストップ付

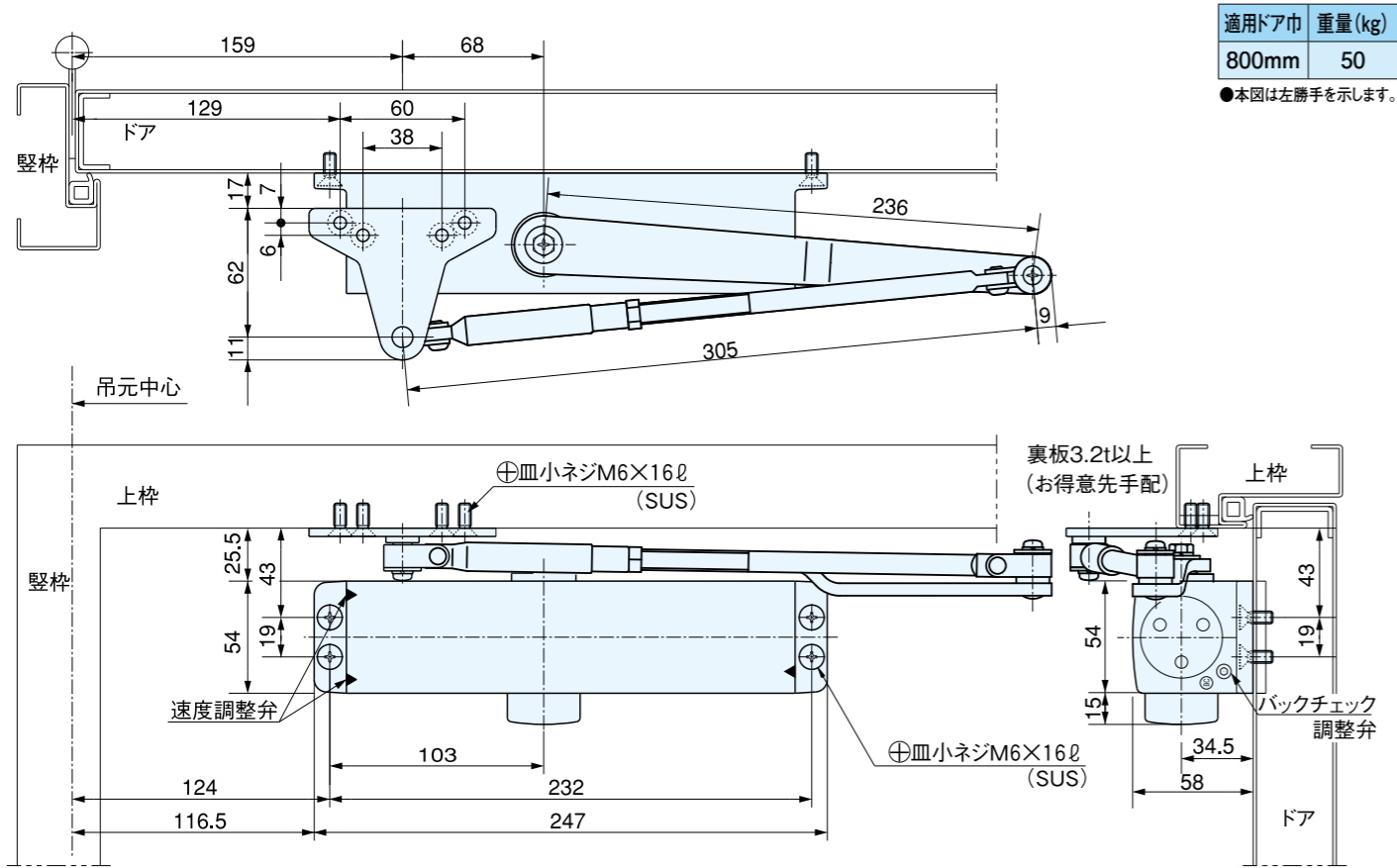
適用ドア巾	重量 (kg)
900mm	50

●本図は左勝手を示します。



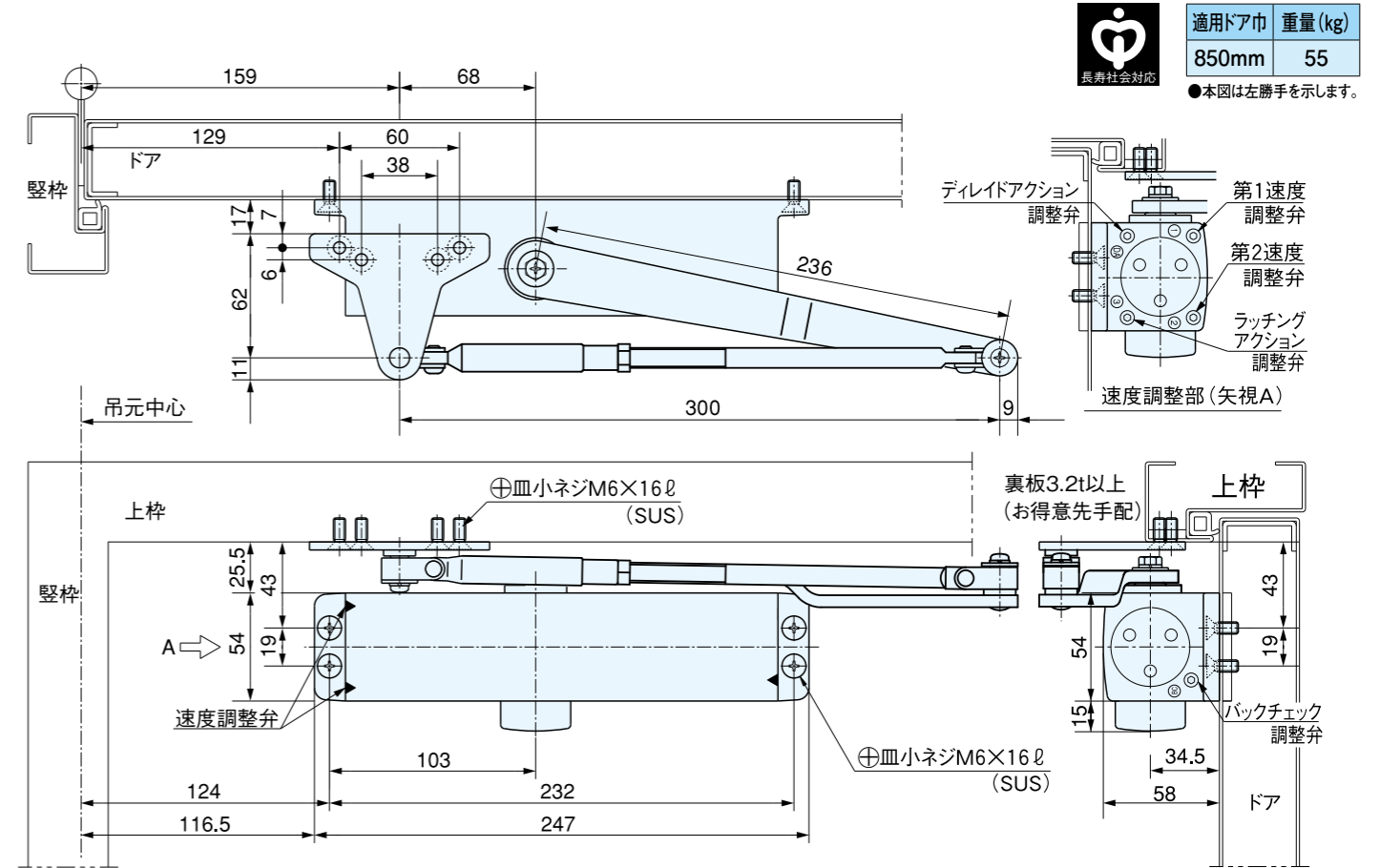
標準納り図

ドア・クローザⅡ型/BL-4P バックチェック付・ストップなし

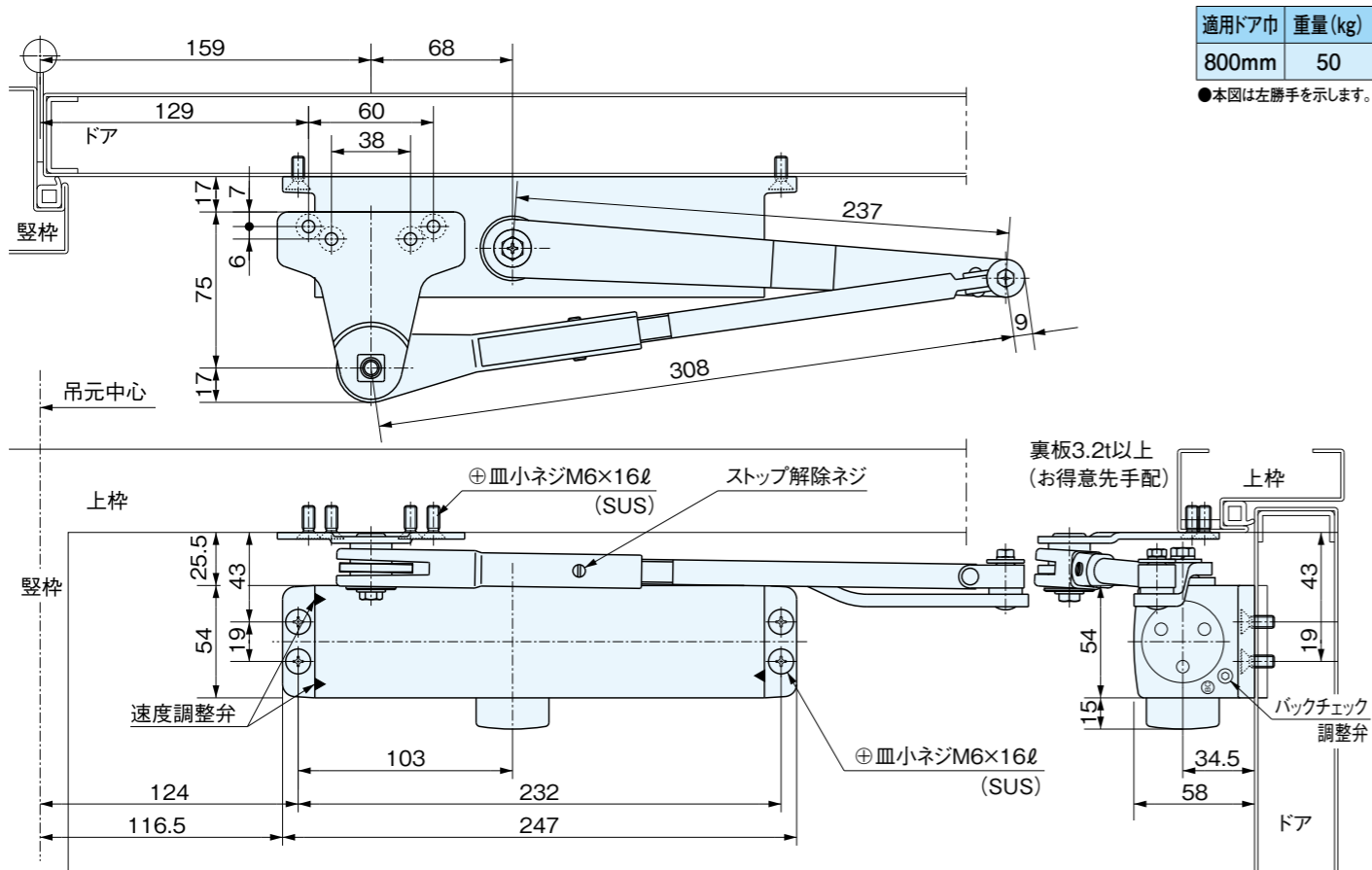


標準納り図

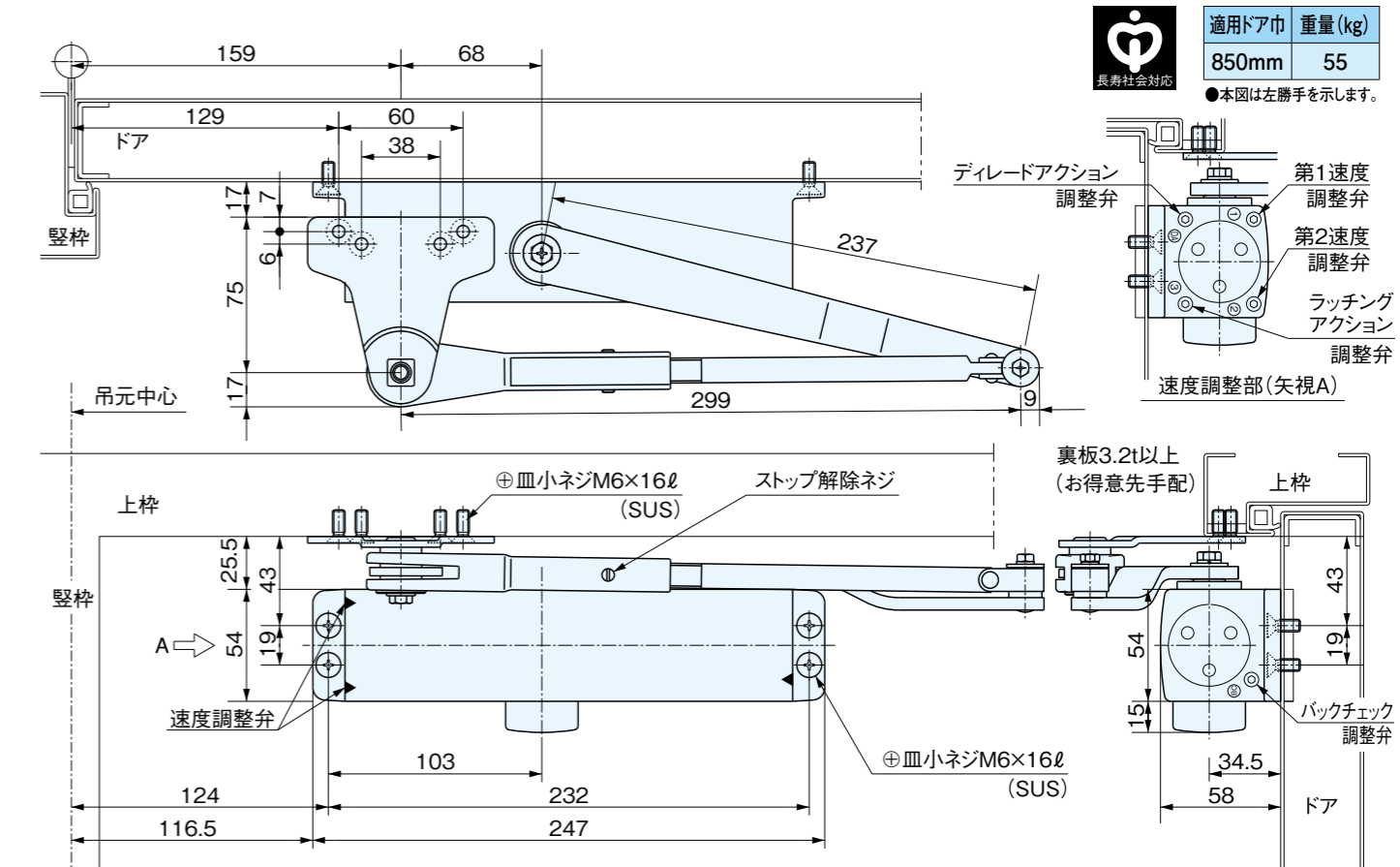
ドア・クローザⅡ-D型/BLA-4P バックチェック付・ストップなし



ドア・クローザⅡ型/CN-BL-4P バックチェック付・工事中ストップ仕様



ドア・クローザⅡ-D型/CN-BLA-4P バックチェック付・工事中ストップ仕様

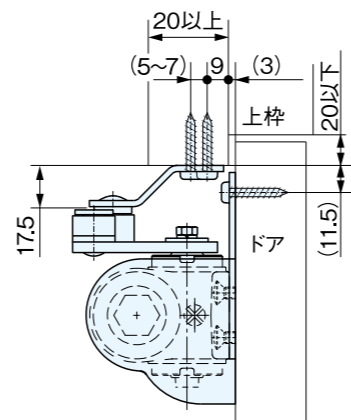
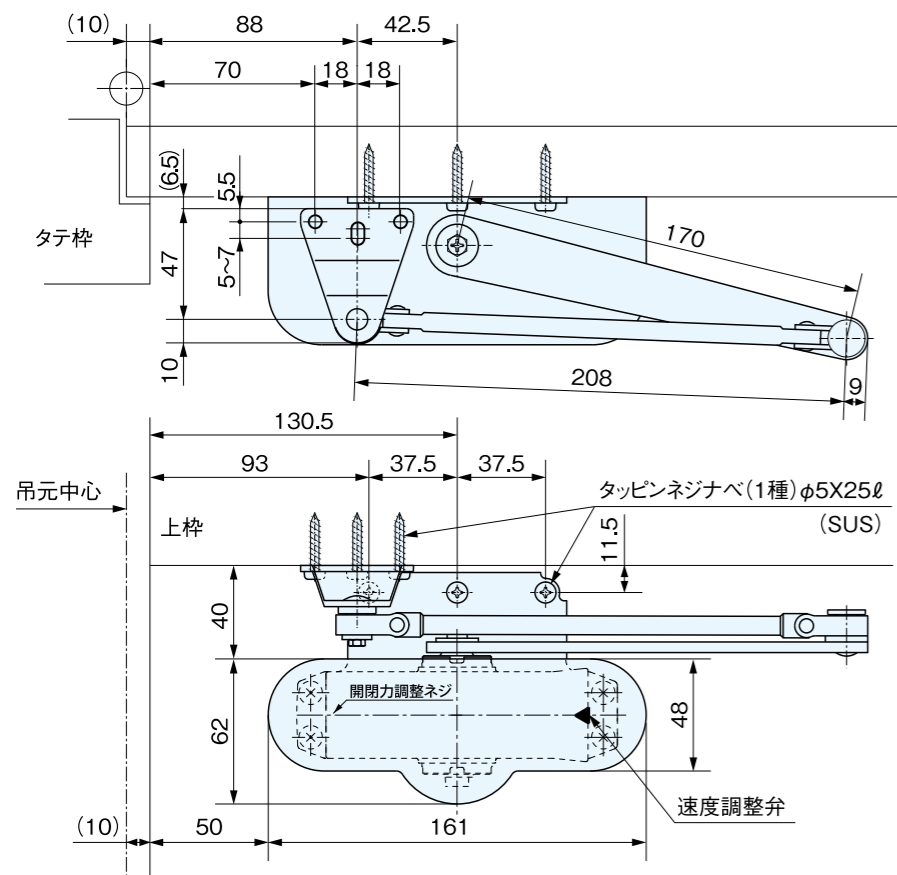


標準納り図

ドア・クローザ内装ドア用/RB-S101PVD

適用ドア巾	重量 (kg)
800mm	30

●本図は左勝手を示します。
●()内寸法は参考寸法を示す。

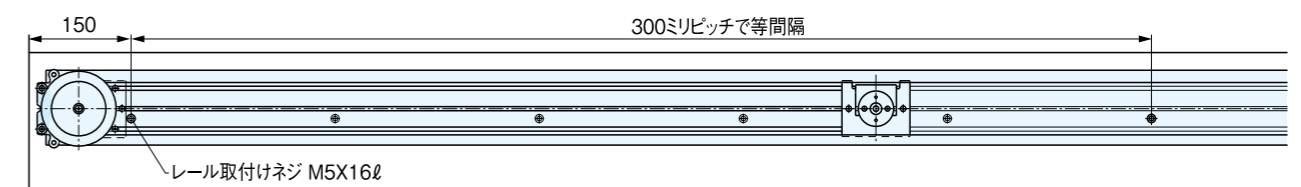


引戸用の取付けおよび調整方法

レールの取付け

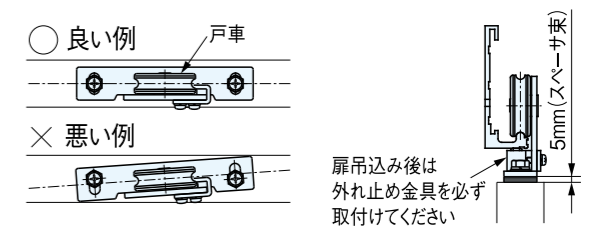
●レールを付属のネジ(M5X16ℓ)にて水平に取付けてください。取付ピッチは300ミリです。

本図は右引きを示します。



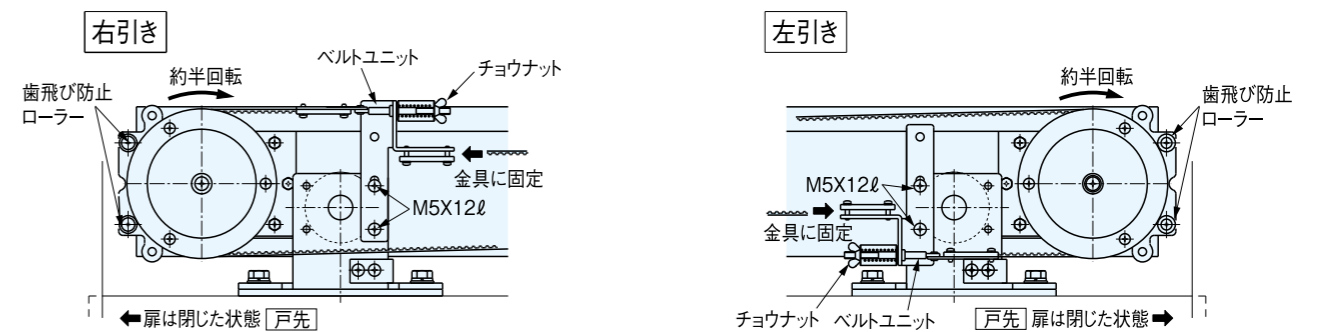
戸車の取付け

レールに対して戸車が一直線になる様に取付けてください。取付けの際は、厚さ5mmのスペーサ束を使用してください。



ベルトの取付け

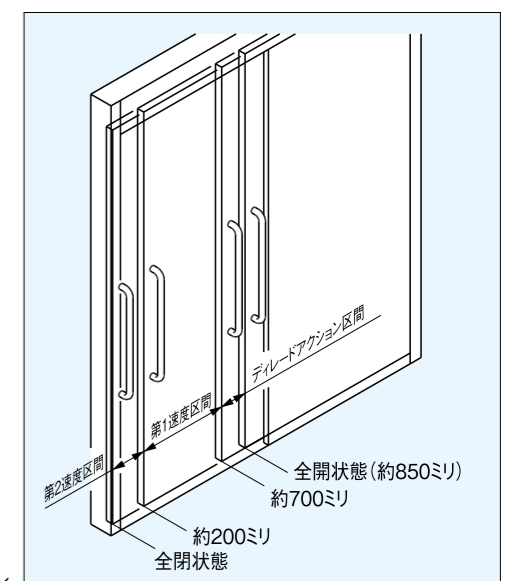
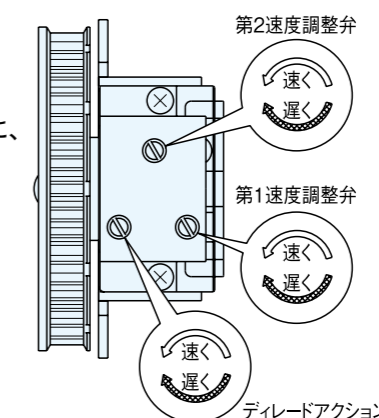
- 戸先側の戸車にベルトユニットを取付けた後、本体にベルトを巻掛けてください。
注)この時、扉は必ず閉じた状態で、且つ本体のドラムを時計方向に約半回転まわした状態で巻掛けてください。
- ベルトを従動プーリーに巻掛けた後、金具に固定してください。ベルト巻掛け後は必ず歯飛び防止ローラーを取付けてください。
- ベルトにたるみ、張り過ぎ、よじれがないよう調整後、扉の作動を確認してください。調整はチョウナットでバネをゲージの長さにしてください。(約26mm)

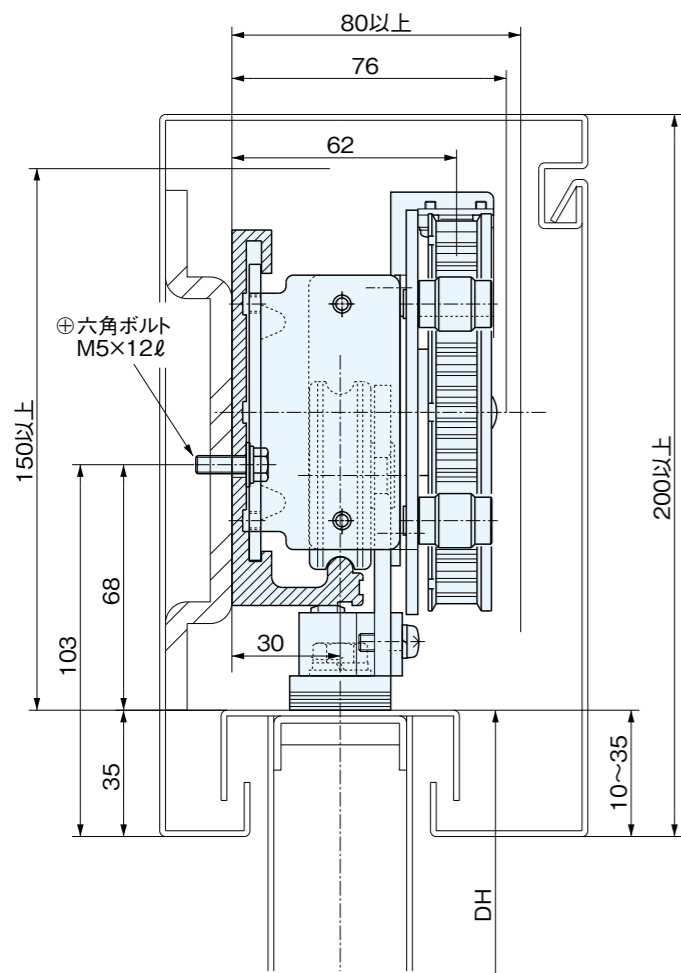


速度調整区間 (ディレードアクション・第1・第2速度)

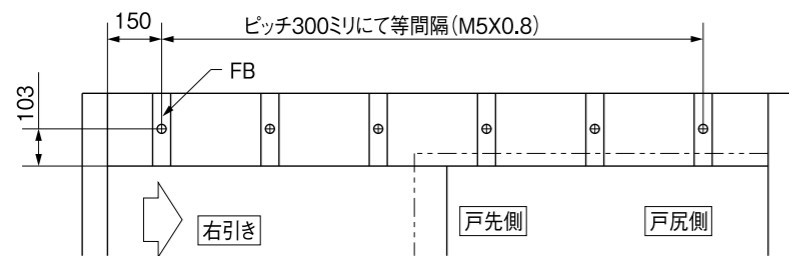
- ドアの閉鎖速度には3つの速度区間があります。
- ドアの閉じはじめのスピードを制御するディレードアクション区間、中間区間のスピードをコントロールする第1速度区間、閉じ際のスピードをコントロールする第2速度区間の3段階に別れます。
- それぞれ独立した調整弁を操作することによって、任意のスピードに調整することができます。
- ディレードアクションはドア全開状態から開口約700ミリ程度までの区間をゆっくりと閉じる装置です。荷物の搬入時や車椅子での通行が便利に、安全になります。第1速度の調整後に調整してください。
- 第2速度はドアの跳ね返りが無い程度に調整してください。

注:閉扉中、閉じ方向に無理な力を与えることは故障の原因となります。

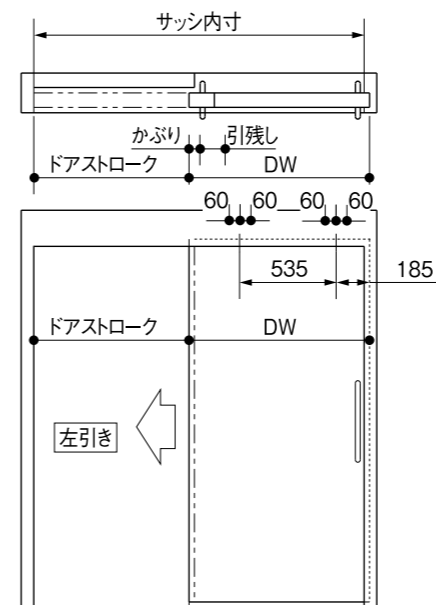
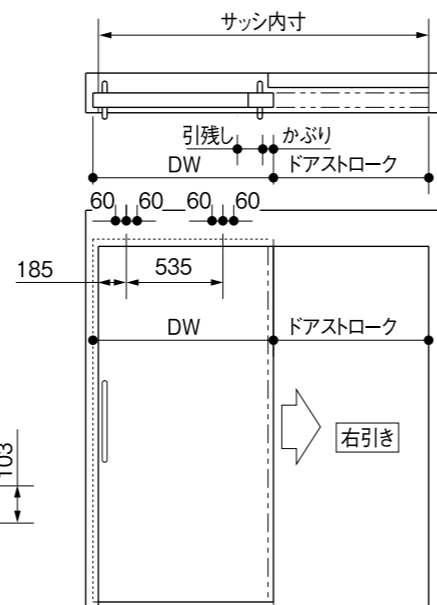
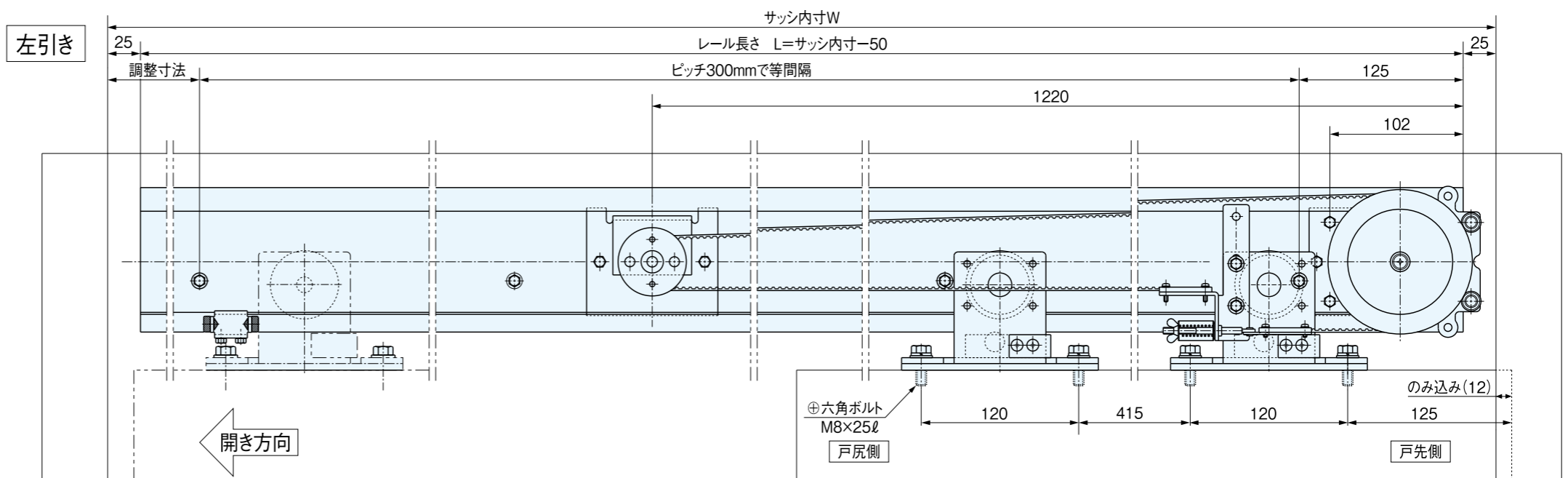
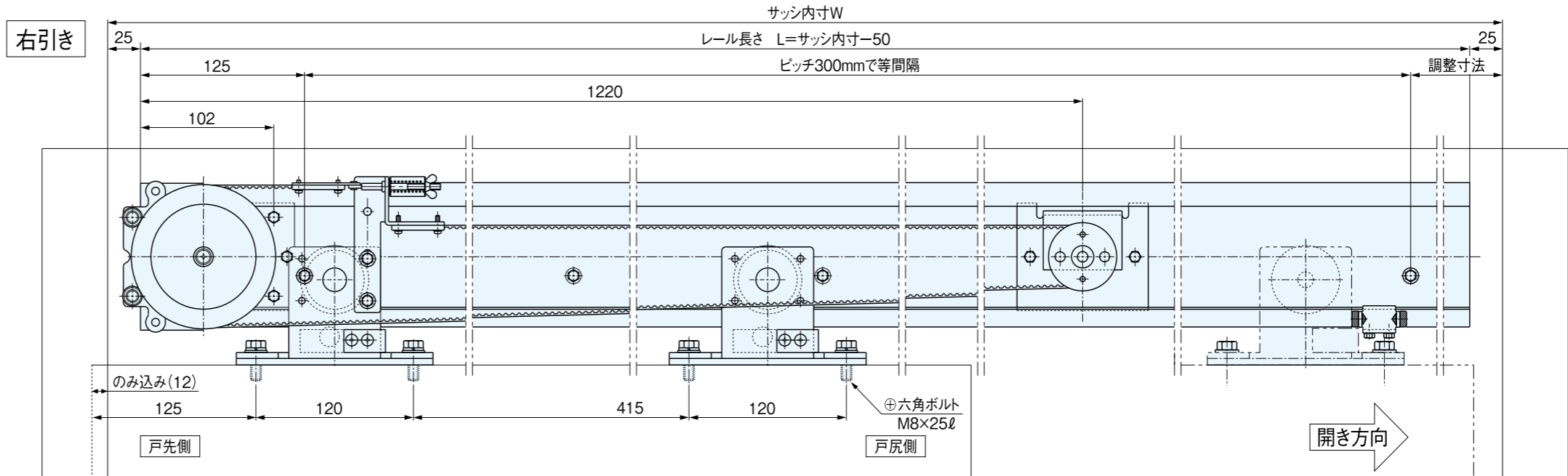
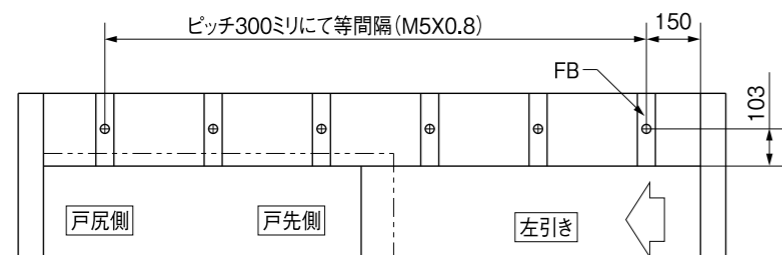


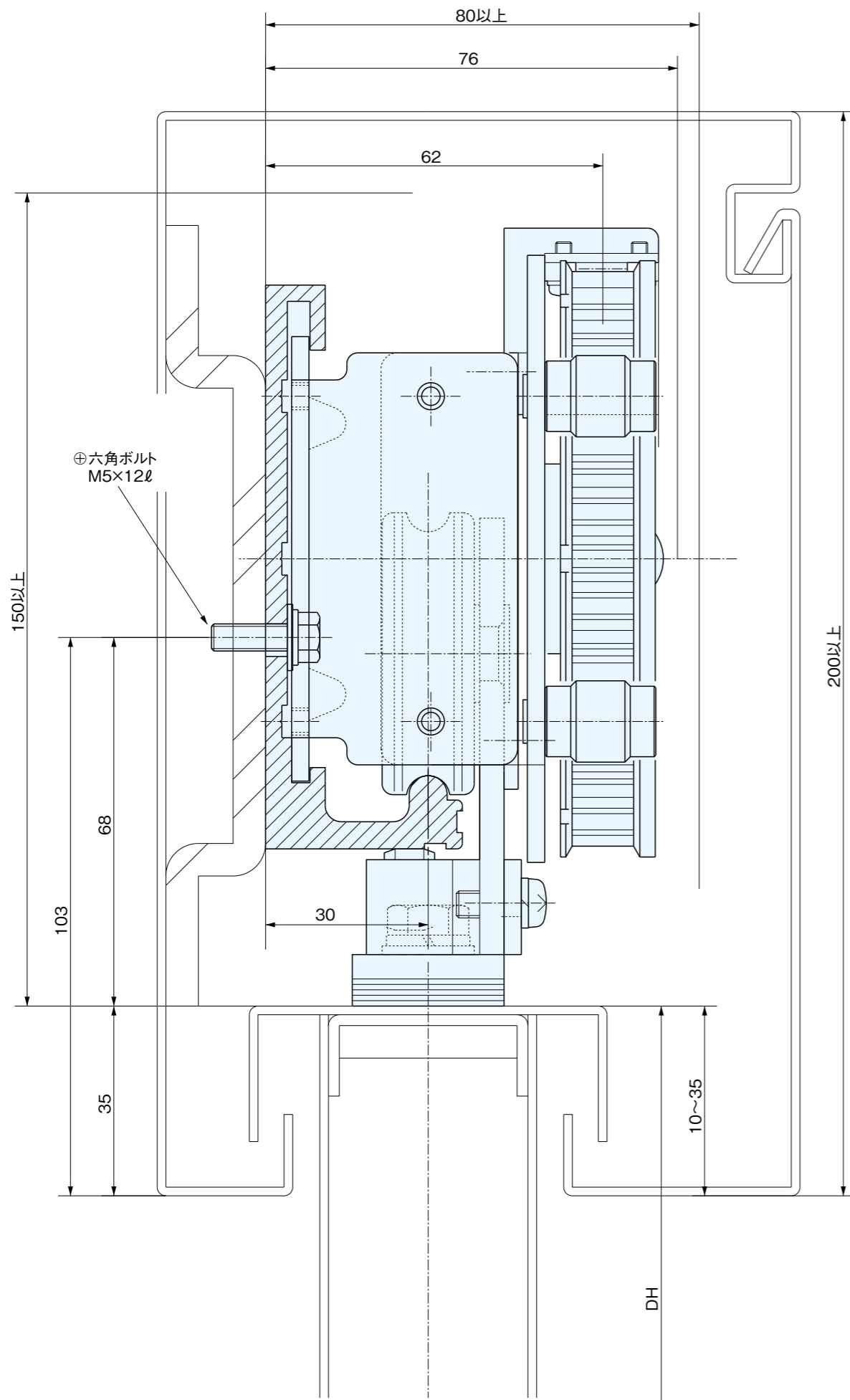


右引き用タップ孔加工図(点検口側より見る)



左引きタップ孔加工図(点検口側より見る)





BL認定商品(住宅向けドアクローザ)

※建設会社・施主の皆様へ
本書は実際に使用される方と建築物を管理される立場の方へ必ずお渡しください。

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、まず、お取り扱いの建築会社様、工務店様に修理、交換をご依頼ください。

尚、BL優良住宅認定部品には、BL認定証紙が貼付されています。

当該優良住宅部品及びその施工の瑕疵ならびにそれらの瑕疵に起因する損害に係る優良住宅部品瑕疵担保責任保険・損害賠償責任保険が付与されています。

当該優良住宅部品の保証責任等を負うべき者がその責務を果たすことができなくなり、かつ、承継者がいない場合には、財団によって当該保証責任等の履行に代わる措置が講じられます。

保証期間

建築会社様よりの引き渡し日(注1)(注2)から開き戸用3年間、引戸用2年間。

(注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。

(注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理、交換いたします。

ただし、本来の使用目的以外の用途に使用された場合は保証の対象にはなりません。

免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理になります。

- ①住宅用途以外で使用した場合の不具合
- ②施工要領書などに基づかない施工の不備に起因する不具合
- ③商品の性能または適用範囲(ドアの重量、サイズ、開閉回数など)を超えたドアの使用または超えた場所に取付けられたことに起因する不具合
- ④窓の開閉などによって誘発される屋内の気圧の変化に起因する不具合
- ⑤建築躯体の変形などに起因する不具合
- ⑥結露及び雨がかりによる錆、カビ、変色、腐食などの不具合
- ⑦商品または部品の経年変化(使用頻度が高いことに伴う著しい消耗、摩耗など)や経年劣化(ゴム部品、樹脂部品の変質、変形、変色など)またはこれに伴うドア開放時の停止不能などの不具合
- ⑧商品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食またはその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、オゾンガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着しておきる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑨天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)に起因する不具合
- ⑩引き渡し後のドアの操作誤り、ドアクローザの調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑪お客様自身の修理、改造などに起因する不具合
- ⑫犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

RYOBI リョービ株式会社

札幌	〒062-0937	札幌市豊平区平岸七条14-3-48	電話(011)811-8232	FAX(011)832-3013
仙台	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町4-2-38	電話(022)237-6201	FAX(022)237-6206
東京	〒114-8518	東京都北区豊島5-2-8	電話(03)3927-5533	FAX(03)3927-9415
富山	〒939-8214	富山市黒崎107-1	電話(076)493-2225	FAX(076)493-2226
名古屋	〒468-0034	名古屋市天白区久方1-145-1	電話(052)807-1643	FAX(052)807-4820
大阪	〒569-0814	大阪府高槻市富田町1-6-17	電話(072)655-0107	FAX(072)655-0153
広島	〒736-0082	広島市安芸区船越南3-7-29	電話(082)823-0028	FAX(082)823-1231
福岡	〒811-2305	糟屋郡粕屋町柚須107-1	電話(092)623-5000	FAX(092)623-5625

<https://www.ryobi-group.co.jp/>

仕様の変更について……商品の品質改良に伴って仕様の一部を変更する場合がありますのでご了承ください。

R

2021年6月